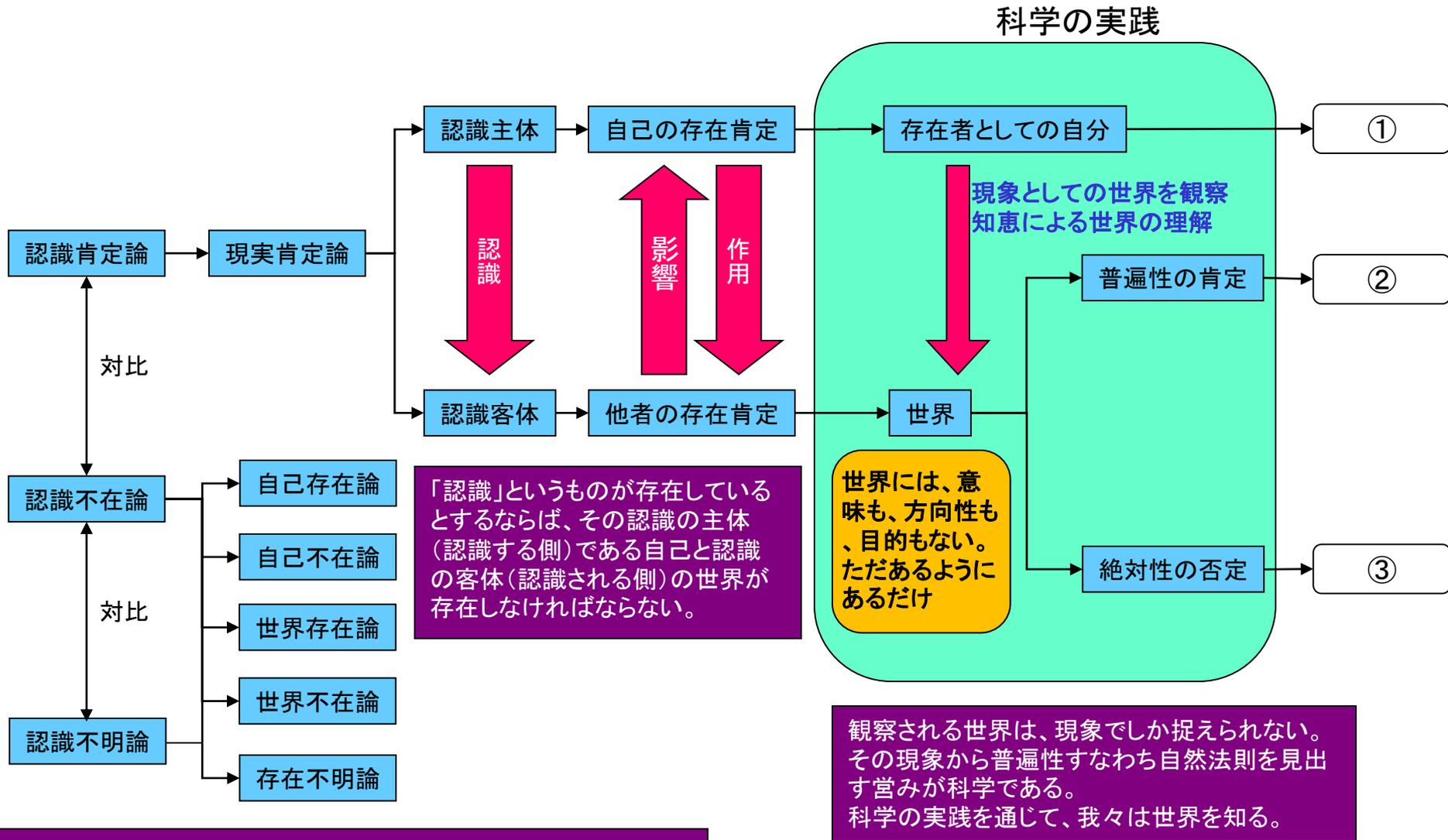


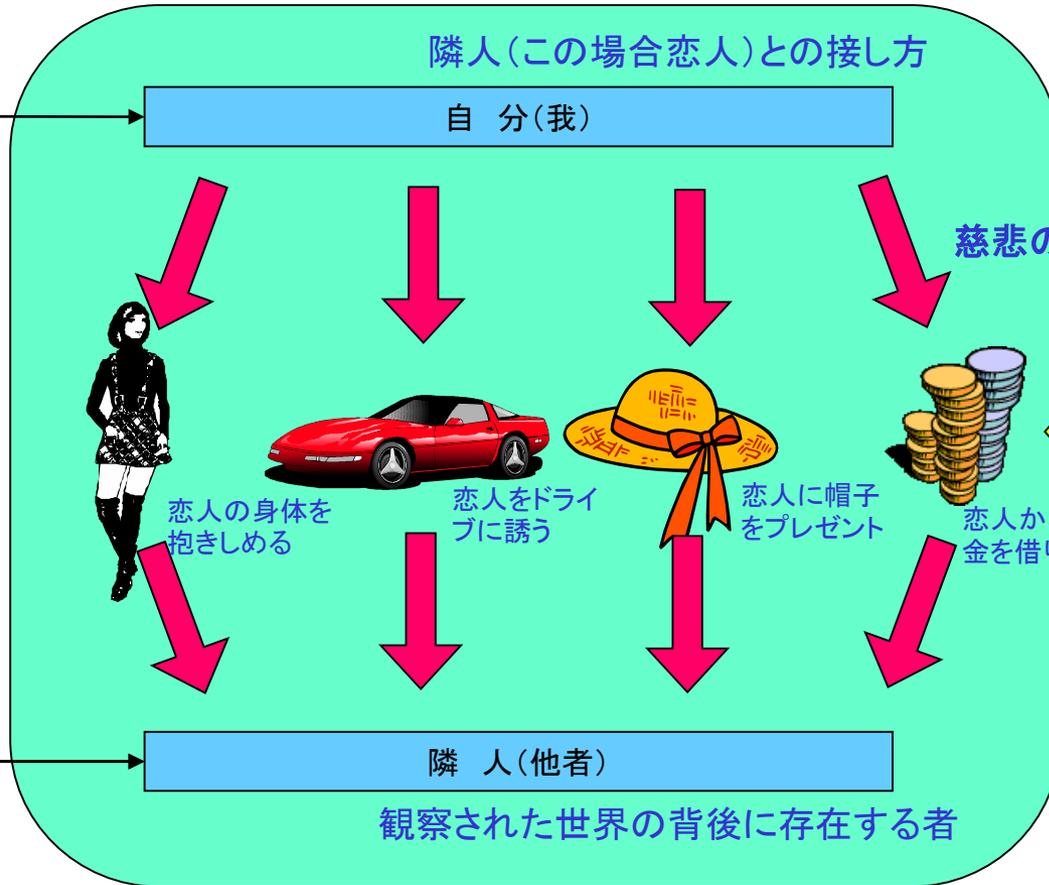
自己と世界の在り方



自己と世界の在り方

独我論的实践

隣人(この場合恋人)との接し方



この世界の特性として、世界の存在はすべて縁起(後述)によって関係し合っている。あなたと青山は会ったことはないけれど同じ宇宙に住んでいる。全く無関係ではない。またこの世界に存在するもので、完全に同じものは二つとない。

個物

個物とは何か？
それは実際に観測される(目に見える)物体であり、それを通じて(介して)我々は隣人と接する(影響を及ぼし合う)。隣人とは個物の背後にいる存在である。
よく誤解されるのが、隣人の身体を隣人そのものだと解釈してしまうことである。自分の身体も自分ではない(世界の一部)ように、隣人も身体を持たない。その隣人の身体を通じて、自分は相手とコミュニケーションをとる。

世界を観察して、それが自己とは独立した存在(自己の思い通りにならないもの)であることを知る。すなわち現象の背後にいる存在者つまり他者の存在を知る。
この他者すなわち隣人とどう接するかが、人間にとって人生における唯一の課題である。

①

②

③